vEdge クラウドルータ

vEdge Cloud は vEdge ルータの仮想バージョンであり、Viptela の物理ブランチルータで提供されるすべての機能を継承しています。vEdge Cloud は、KVM ハイパーバイザ上の仮想マシン（VM）として、またはVMware ESXi ハイパーバイザ上の VM として、もしくは Amazon AWS や Google Cloud Platform などのパブリッククラウド環境でインスタンス化できます。vEdge Cloudは、ブランチでの仮想CPE（vCPE）導入の仮想ネットワーク機能（VNF）として使用できます。また、Amazon Web Services（AWS）に作業負荷を与えているお客様向けの仮想プライベートクラウド（VPC）ゲートウェイとしても使用できます。

vEdge Cloud ルータの起動と設定

vEdge Cloud ルータを起動するには、VMware vSphere ESXi ハイパーバイザソフトウェアまたはカーネルベースの仮想マシン（KVM）ハイパーバイザソフトウェアがインストールされているサーバ上に vEdge Cloud ルータ用のVMインスタンスを作成します。サーバの要件に関しては、「サーバのハードウェア要件」を参照してください。

vEdge Cloud VM インスタンスを作成するには、「vEdge ルータの導入」を参照してください。

vEdge Cloud ルータを設定するには、「vEdge ルータの設定」を参照してください。

vEdge Cloud ルータのデフォルト設定

各 vEdge Cloud ルータにはデフォルト設定があります。デフォルト設定ファイルは、デフォルトの CLI プロンプトを vEdge# に設定し、OMP を構成し、syslog メッセージをファイルに記録できるようにします。

デフォルトのコンフィギュレーション ファイルはこのように表示されます。

```
vEdge# show running-configsystem host-name vedge vbond  ztp.viptela.com  aaa  auth-order
 local radius tacacs  usergroup basic   task system read write   task interface read
write  !  usergroup netadmin  !  usergroup operator   task system read  task interface
read  task policy read  task routing read  task security read  !  user admin  password

$6$F1rfcIs0C/GI3RPc$jo/<wbr/>w1F0Ivv2aOlslWO3qEhVTEAVjpoTbz<wbr/>1EzckuzFLXvYK59JhpcqR7rtqY6qni<wbr/>eg/0m.X85SxShYxy9PQ7.r.
  ! ! logging  disk   enable  ! !!omp no shutdown graceful-restart advertise connected
advertise static!security ipsec  authentication-type ah-sha1-hmac sha1-hmac !!vpn 0
interface ge0/0  ip dhcp-client  tunnel-interface  encapsulation ipsec  no allow-service
 bgp  allow-service dhcp  allow-service dns  allow-service icmp  no allow-service
sshd  no allow-service netconf  no allow-service ntp  no allow-service ospf  no
allow-service stun  !  no shutdown !!vpn 512 interface eth0  ip dhcp-client  no shutdown
 !!
```

• 適合宣言 （2 ページ）

適合宣言

Viptela 製品は、米国輸出管理規制（EAR）の輸出規制品目リスト（CCL）に基づいて、米国輸出規制分類番号（ECCN）5A002、5D002、および 5E002 のネットワーク機器として管理されます。

vEdge ハードウェアおよびソフトウェア製品および Viptela 暗号化テクノロジーは、ライセンス要件なしで、ほとんどのエンドユーザおよび送り先に提供できます。Viptela のソリューションおよび製品は、米国政府によるレビューを 1 回実施し、許可例外 ENC の認定を得ています。そのため、Viptela のソリューションおよび製品は、EAR のセクション 740.17 に従って輸出資格を有します。

Viptela のソリューションおよび製品は、キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、およびシリアのエンティティまたはエンドユーザを除き、世界中のほとんどのエンドユーザに提供できます。

制御対象テクノロジー

Viptela は、米国輸出管理規制（EAR）の対象となるテクノロジーを管理します。これらの管理対象テクノロジーには、米国ECCN 5E002 暗号化テクノロジーが含まれる場合があります。Viptela 暗号化テクノロジーは、暗号化を実装または使用する Viptela 製品の開発、実稼働、および使用を対象としています。

Viptela ソフトウェア配布ポリシーでは、認証されたユーザのみが Viptela 暗号化ソフトウェアをダウンロードできます。管理対象テクノロジーの受取人は、ECCN5E002 に従い、最初に米国政府から認可を取得することなしに、米国およびカナダ以外の国民が Viptela 情報にアクセスするのを防ぐために、適切な管理を維持することが義務付けられます。

管理対象テクノロジーの詳細については、Viptela のサポートまでお問い合わせください（support@viptela.com）。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。